

会報

冬
No.180

2018.1

一般社団法人北海道電業協会



年頭ごあいさつ

国土交通省 北海道開発局 営繕部長 澤 永 好 章…………… 1

平成30年の新春を迎えて

(一般社団法人) 北海道電業協会 会長 吉 本 浩 昌…………… 2

北海道を離れて思うこと

小 出 信 夫…………… 3

(一般社団法人 北海道電業協会 元副会長)

平成29年度 経営者懇談会・セミナー…………… 4

平成29年度 経営者懇談会…………… 5

平成29年度 北海道開発局営繕部と電気・空衛両協会との意見交換会…………… 6

平成29年度 北海道の建築工事に係る合同研修会…………… 7

～シリーズ～ 1 / 212だより

・市民と行政が協働するまち ～登別市～

登別市長 小笠原 春 一… 8～9

・おもてなしの“まち” ～上川町～

上川町長 佐 藤 芳 治…10～11

電気設備施設見学会……………12

平成29年度 登録電気工事基幹技能者認定講習会……………13

安全衛生パトロール実施報告……………14

平成29年度「公共建築の日」イベント……………15

～シリーズ～ 「私のいちおし」

浅海電気(株) 札幌支店支店長 栗 原 健 治……………16

厚生委員会行事報告

歌唱部会……………17

ボウリング部会……………18

ゴルフ部会……………19

理事会・委員会報告……………20～22

事務局日誌……………23

編集後記



年頭ごあいさつ

国土交通省 北海道開発局

営繕部長 澤 永 好 章 (さわえ よしあき)

新年あけましておめでとうございます。

一般社団法人北海道電業協会の皆様には、国土交通省における北海道開発行政、とりわけ官庁営繕の事務・事業の執行について、平素よりご支援・ご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

北海道開発局営繕部では、大きく分けて、国家機関の官庁施設の整備に関する業務と、国の機関が適正な機能を維持できるよう保全指導などの業務を行っています。このうち官庁施設の整備については、近年の大規模災害の多発や老朽化した施設が増大していく中、災害に対する国民の安全・安心の確保等に的確に対応することが求められています。このため、平成30年度の官庁営繕概算要求にあたっては、防災拠点となる官庁施設の防災機能の強化や既存官庁施設の長寿命化に重点をおいております。

施設の防災機能の強化では、従前から取り組んでいた官庁施設の耐震化や津波対策をさらに推進するとともに、地域と連携した防災拠点となる官庁施設の整備を実施し、新たなまちづくりやにぎわいの創出等に寄与することで、地域の活性化にも積極的に貢献することとしております。

施設の長寿命化では、政府の「インフラ長寿命化基本計画」において戦略的な維持管理・更新を行うことが重要とされており、既存官庁施設をより長く安全に利用し、トータルコストの縮減・平準化を進めるため、ハード・ソフトの両面から官庁施設の長寿命化を図ることとしております。

防災機能の強化においては、防災拠点となる官

庁施設での災害応急対策活動には電力の確保が必要不可欠であり、その施工を担う立場から、電気設備関係の企業・技術者の役割はますます重要となっております。また、施設の長寿命化においても、修繕・改修工事を実施するにあたり、新築とは異なる技術力やマネジメント能力が求められますので、皆様の高い技術力を一層発揮していただくことを期待しております。

電気工事業をはじめ、建設業は、地域の活力の基となる経済や雇用を支える基幹産業であるとともに、国民の生命・財産・暮らしを守る社会資本整備の担い手として、重要な役割を担っておられます。一方で、若年入職者の減少と高齢化が進行しており、優秀な技術者や技能労働者の確保・育成は喫緊の課題となっております。このため、北海道開発局におきましても建設産業の健全な発展に向けて、建設業の魅力を向上し、担い手の確保・育成に資する取組み、長時間労働の是正などに向けた「働き方改革」に資する取組みを推進してまいります。引き続き皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年は、本道が「北海道」と命名されてから150年目となる節目の年となり、北海道の可能性を見つめ直し、新しい価値を創造することが求められています。このことを踏まえ、本年が北海道の将来にとって希望の年となりますよう祈念するとともに、皆様のさらなるご発展とご健勝をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



平成30年の新春を迎えて

一般社団法人 北海道電業協会

会長 吉本浩昌

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様方には、ご家族お揃いで新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、道内では、北朝鮮のミサイルに道民を震撼させるような事態があったものの、一年を通して大きな自然災害や世間を揺るがすような事件、事故も少なく、比較的平穏な一年であったように感じています。

道内の景気は、緩やかに回復基調が続いている状況ですが、先行きについても、雇用や個人消費の改善、生産活動の持ち直しを背景に、比較的明るい見通しにあるようです。私ども電気設備工事業界も、近年、少し明るさが戻ってきたと思っているところですが、この景気回復の波が更に力強さを増し、企業経営に明るい展望が描けるように期待するものです。

他方、国内に目を転じると、昨年は、日本を代表するようなメーカーや名門企業の不正発覚が相次いで報道されました。これは、一企業にとどまらず、その業界や日本ブランドの信頼に少なからず影響を与えかねない重大な出来事と感じております。北海道の社会基盤の整備や安全・安心を担う私ども電気設備工事業界では、あらためて「コンプライアンス遵守」ということを肝に銘じ、お客様や社会の信頼に添えていくことが必要と考えております。

さて、電気設備工事業界は、電気設備の建設とその保守管理を通じて、道民生活や経済活動に直結するライフラインを担い、お客様に対して良質な設備を提供するという重大な使命・責務があります。その使命を果たしていくうえで最大の課題は、「担い手の確保」です。建設産業においては、

急速に進む少子高齢化や長年の建設投資の減少と激しい受注競争の中で就労環境が悪化し、人材不足が深刻化してきており、今後の受注や工事計画に与える影響も懸念されております。特に、技術者・技能者不足は、電気設備工事業界においても社員の高齢化、若年入職者の減少によって長年培われてきた技術・技能をいかに的確に承継していくかが喫緊の課題であり、業界の魅力を高め、優秀な人材を確保していく取り組みとともに生産性の向上に努めていかなければなりません。

また、「働き方改革」への対応も今後の重要なテーマになるものと考えております。

当協会としては、このような経営環境の下、「人材の確保・育成と生産性向上」とともに「適正な工期・適正な価格での受注の確保」、「分離発注の促進」、「電力新時代への対応」を活動目標に掲げ、品質確保と会員企業の経営基盤の一層の強化を図ることとしております。

折しも昨年当協会が創立して50年目を迎えました。本年は、記念事業も予定しているところです。次の時代の更なる発展のためには、北海道の開かれた電気設備工事業界の団体として、会員が一丸となって知恵を出していくことが必要となります。力を合わせて「夢と生きがいのある電気設備工事業界」を目指し、諸課題に挑戦していきましょう。

引き続き当協会の諸活動に対するご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、会員企業の皆様のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



北海道を離れて思うこと



小 出 信 夫 氏

(一般社団法人 北海道電業協会 元副会長)

北海道を離れて早10年になろうとしている。私は退職後、毎年夏期約2ヶ月間ベルギーの娘家族と生活している。ここを拠点として、夫婦で現地発のツアーに参加したり、家族でヨーロッパ各地の旅をしている。車で旅をしていると北海道を思い出す。

美瑛の景色を拡大したような風景によく出会う。私にはフランスと言えば花の都パリ、ファッション、文化、芸能、美食の国というイメージがあったが、まったくの農業、牧畜の国である。

ブドウ畑の中の一本道を走っていると、忽然と町が現れる。教会の広場を中心にして民家を取り巻く千世帯程の町、通り過ぎるとまた畑のなだらかな一本道とこんな風景が続く。こんな時ふと、北海道は独立して、北部ヨーロッパの国々の様な政治、経済の道州として成り立たないものかな？なんて馬鹿なことを考えることがある。

娘宅に出入りする、庭師、建築屋、水道屋、電気屋などの様子を見てみると昔の仕事を思い出す。だが、対応がすべてノンビリしている。

一度などシャワー室のバルブが破損し水が出っぱなしになった。水道の元栓を止めて水道屋に連絡したが、翌日にしか来られないと言う。台所などで水が必要な時は、元栓を開きシャワー室の水を流しっぱなしで水仕事をする。

翌日午後水道屋が来て、止水の応急処理をして「修理は部品が入ってから連絡する」と言って帰った。20日後の私の帰国日までには何の連絡も来ていない。義息子はベルギー人でシャワーを日々愛用しているので不自由しているが、別にあるバスで我慢している。

この様な事件は日常茶飯事である。しかし、家人はこれが通常で平気なものである。家人と業者との間も険悪になることもない。

振り返って考える、我々電気工事会社と客先の関係はどうだろう？

確かに日本の生活はすべてにおいて便利である。時間に正確である。気遣いもある。が、これが精神を追い詰めて、心の余裕、豊かさを失っていないか？私達も消費者として客となることもある。『消費者である私が労働者としての私を追い詰めていないか』と某新聞の記事を読む、なるほどと思う。

効率を求めるデジタル的な働き方が窮屈な生活を生んでいる。ベルギーで滞在中には殺人や自殺の事件の話題に接していない。ましてや若年層の自殺など聞いたことがない。この現象は今の日本を象徴している。

北海道電業協会の活動においても、互いに技術を研鑽する、コストを下げる工夫をする、新しいビジネスの発掘・創生をするなど大いに実施すべきだが、厳しい現実の中で、共生する為に、心の豊かさや、気持ちの余裕の復活を求める取り組みは無いものだろうか？

己が在職中に何もできなかったことを願うのはおこがましいが、これは豊かな大自然に生まれた北海道にだけ期待できることではないかと思う。

小出 信夫 氏

(元株北弘電社 代表取締役社長)

平成16年～平成19年まで

当協会の副会長

平成29年度 経営者懇談会・セミナー



平成29年11月7日(火)札幌グランドホテルで「平成29年度経営者懇談会・セミナー」を開催し、会員代表者など60名が聴講しました。

はじめに、吉本 浩昌会長が挨拶し、電気設備工事業を取り巻く事業環境にふれた後「本日のセミナーでは、『風通しの良い職場づくり』と題して、(一社)日本ビジネスコミュニケーション士協会の岡本律子講師をお招きしております。経営のトップにおられる方や職場の中核におられる方々が、職場での良好な人間関係をつくるため、個性の見方を知り、人を掌握することはとても大切です。生産性の高い組織づくりの一助となればと考えておりますので熱心なご聴講をお願いします」と述べました。



岡本講師

セミナーの概要

人の考え方・行動の仕方には一人ひとりの独自の傾向があります。その考えや行動の傾向性「性格」です。しかし、ついつい無意識に「相手も自分と同じように考え行動する」ことを期待してしまいます。自分の期待通りのことが起こらないとき、人はストレスを感じます。性格分析の基本を知ると「イライラが減った」「なぜ理解してもらえなかったのか分かった」とその日からあなたが相手を見るスイッチが変わります。経営者や管理職にとって、人を掌握することはとても大切です。個性の見方を知り、個性を乗り越えた組織づくりの具体的なヒントを知ることができるセミナーです。

岡本 律子講師プロフィール

ビジネスシーンにおけるエゴグラムの研究家。2002年リクルート在職中に心理カウンセラーの認定を受け、カウンセラー・セミナー講師・コンサルタントとして独立。様々な職場で延べ4,500人以上の面談を通じ、性格とストレスの関係、仕事における悩みの傾向を調べ「岡本律子式コンビネーションエゴグラム分析法」を確立させる。コンサルタント実績企業150社を超え、「性格分析基礎セミナー」は600回以上の講演実績を持つ。

平成29年度 経営者懇談会



平成29年11月7日(火)経営セミナーに引き続き「平成29年度経営者懇談会」を会員代表者など46名が参加して開催されました。

懇談会は、当協会を取り巻く諸問題、協会事業に関する意見や提言を頂き、今後の協会事業に反映し、更に会員代表者相互の意見交換の場として毎年開催しています。



吉本会長

始めに吉本 浩昌会長から「景況感は緩やかに持ち直しが続いている状況ですが、長期にわたって厳しい環境に耐えてきた業界は、現場の技能者不足や将来の担い手である新卒

者、若年者が確保できない問題に直面しています。

私ども電設業界でも、少子高齢化が進む中で、どのようにして人手不足を補い、どのような形で長年培われてきた技術や技能を継承していくのか、喫緊の課題として取り組まなければならないと考えています。また今後の大きなテーマであります働き方改革について、業界内の努力だけでは解決できない要因も多く関係個所に粘り強く改善を求めていかなくてはならない」と挨拶されました。

続いて、宇野 徹専務理事の司会で議事進行となりました。(議事次第参照のとおり)



【平成29年度 経営者懇談会議事次第】

1. 電設協 平成29年度会員大会の開催概要について
2. 当協会創立50周年記念事業の概要について
3. 協会事業のあり方等の検討に係るアンケート調査の実施結果について
4. 連絡事項
 - ・実技講習会について
 - ・平成30年電気賀詞交歓会のご案内について
5. 各地区協会の活動近況報告
6. 協会事業に対する意見・要望事項

懇談会終了後は、交流会となり会員相互和やかに親睦を図りました。

平成29年度 北海道開発局営繕部と電気・空衛両協会との意見交換会



平成29年10月23日(月)北海道電気会館において、当協会と（一社）北海道空調衛生工事業協会との共催（電気・空衛連絡協議会）で、北海道開発局営繕部の澤永 好章部長をはじめ9名の幹部の方々のご出席をいただき意見交換会を実施しました。

当協会からは吉本 浩昌会長他11名、北海道空調衛生工事業協会からは池田 薫会長他11名が出席しました。

はじめに両団体を代表し（一社）北海道空調衛生工事業協会 池田 薫会長から「若手技術者の不足や高齢化、働き方改革への対応など業界を取り巻く事業環境に触れ、若年者の雇用、育成には安定した経営基盤と魅力ある産業づくりが重要であります」と協力を求めました。引き続き北海道開発局の澤永部長から「官庁施設の整備について、建替・新築を計画・実施していきます。また既存施設の長寿命化改修などを実施し、ストックの有効利用を図ることとしています。設備関係の皆様のご役割は今後、ますます重要となっております」と事業に対する理解と協力を述べ挨拶されました。

この後、意見交換会では北海道開発局営繕部の担当の皆さまから議題について詳細な説明がありました。

協会からは①現場管理社員の長時間労働是正について②分離発注の継続のお願い③安定的な工事量の確保についての3項目を要望いたしました。

これに対し営繕部から①について「建設工事における適正な工期設定などのためのガイドラインというのが申し合わせされております。国土交通省直轄営繕工事において、適正な工期設定・施工時期の平準化、書類の簡素化、設計意図の的確な反映など取組む事項となっております」②について「分離できる場所は分離発注と考えており、施工の責任や工事に係るコストの明確化が図られ、工事業者の育成に資するものとして実施してまいります」③について「地域に必要とされる防災に資する官庁施設全般で、老朽化した施設が増加していく中、既存施設の有効利用を図りつつ、災害に対する国民の安心・安全の確保などが重要と考えております。このような観点から長寿命化の推進に重点を置き、予算の確保に努めていきたい」と回答をいただきました。

【主な議題】

1. 平成29年度 開発局営繕事業の概要
2. 国土交通省直轄工事における社会保険未加入対策の強化について
3. 営繕部における総合評価落札方式（修正点）について
4. 営繕部における円滑な施工体制確保の取組み
5. 要望事項などについて

平成29年度 北海道の建築工事に係る合同研修会



平成29年9月29日(金)北海道建設会館において、当協会と北海道電気工事業工業組合、(一社)北海道空調衛生工事業協会、北海道管工事業協同組合連合会との4団体共催で全道から4団体役員等、約66名の参加のもと、北海道建設部建築局幹部の方々のご出席を頂き「平成29年度北海道の建築工事に係る合同研修会」を開催いたしました。

最初に主催者を代表して(一社)北海道空調衛生工事業協会池田 薫会長から「高度成長期に建設された施設が改修時期を迎え、建設業は新築から改修に軸足を移している」と事業環境に触れながら、安定した経営基盤による若年者の雇用など業界の諸課題に取り組んでいきたい」と挨拶されました。

続いて、北海道建設部建築局建築整備課 設備・環境担当課長の川尻 康博様から「平成29年度の発注件数は前年よりも増加している。また今後の発注予定は道議会庁舎、本別町農業大学女子寮増築などを説明し、事業執行に向けた協力をお願いしたい」と挨拶されました。

この後、建築局の各担当者の皆様から**総合評価**



ご挨拶 川尻設備・環境担当課長

方式の改正について、**営繕工事の管理ポイント、創意工夫の傾向**について解説頂きました。

この後、主催者側から①現場管理社員の長時間労働是正について②分離発注の継続のお願いについて③安定的な工事量の確保についての3項目を要望いたしました。

これに対して北海道建築局からは①については「建築局としても重要な課題と認識、現在、建設産業の持続的発展に向けて『北海道建設産業支援プラン2018』の策定を進めており、国の動向等を踏まえながら長時間労働の改善に向けて、書類の簡素化と併せ努力してまいります」②については「確実な施工責任体制、良質な品質確保のため従前から分離発注を実施しており今後も継続します」また③については「建築局は工事予算を要求する部局ではないとしつつ、施設の長期保全計画や修繕工事に主体的にかかわることとなり、今後とも工事量の確保に繋がるよう努めたい」と回答をいただき有意義な研修会を終えました。

北海道建設部建築局からの出席者名

- ・ 建築整備課 設備・環境
担当課長～ 川尻 康博 様
- ・ 営繕企画グループ主幹～ 飯沼 善範 様
- ・ 電気設備グループ主幹～ 高田 誠 様
- ・ 〃 主査～ 汲川 哲也 様
- ・ 機械設備グループ主幹～ 本間 智志 様
- ・ 〃 主査～ 川村 祐康 様



市民と行政が協働するまち ～登別市～

登別市長 小笠原 春 一



■市の概要

太平洋と山岳地帯に挟まれた人口約5万人を有する登別市は、支笏洞爺国立公園をはじめとする豊かな自然環境と多種多量な温泉に恵まれた観光都市として、また、北海道で有数の工業都市・室蘭市のベッドタウンとして発展してきました。

なかでも登別温泉は、1日約1万トにもなる自然湧出量を誇り、硫黄泉や鉄泉、ミョウバン泉など、9種類もの温泉が湧き出していることから、温泉のデパートとも呼ばれており、「のぼりべつ」という地名の由来であるアイヌ語の「ヌプルベツ（色の濃い・川）」は、溢れ出した温泉が川に流れ込み、白く濁っていたことによるものです。

太平洋に沿って、登別漁港、富浦漁港、鷺別漁港の3つの漁港を有し、スケトウダラやサケ、ホッキ貝、イカなど、豊富な海産物が水揚げされるとともに、来馬岳の麓にある札内台地では酪農



▲ 9月に登別漁港で開催される漁港まつり

や畜産が盛んに営まれており、海から風に乗って運ばれた豊富なミネラル分を多く含む牧草により上質な乳製品や食肉などが多く生産されるなど、豊富な資源を有しています。

■まちづくりの考え方



登別市は、住みやすく魅力あるまちを目指すといった共通の目標のもと、市民との情報共有を図りながら、市民と行政それぞれの役割分担を適切に行い、このまちを支えあう協働のまちづくりを進めています。

その一環として、毎年、市内10地区において、地区懇談会を開催し、市民の皆さんへ市の取り組みについて情報を提供し、それに対する意見を伺うとともに、それぞれの地域で抱える課題などを市長や市幹部職員が直接お聴きし、市政運営に反映しています。

■のぼりべつを堪能する

・登別地獄谷

約1万年前に起きた日和山ひよりやまの噴火活動によりできた爆裂火口跡である『登別地獄谷』は、数多くの湧出口や噴気孔があり、泡を立てて煮えたぎる風景が『鬼の棲む地獄』の由来となりました。この場所から、硫黄泉やミョウバン泉、鉄泉など、成分の異なる湯が毎分約3千ℓも湧き出しており、登別温泉最大の源泉でもあります。

北海道遺産にも選定されている登別地獄谷は、温泉街に隣接しており、四季折々の風景を見ることができ、地獄谷前の広場は、人気イベント『地獄の谷の鬼花火』の会場にもなっています。

・大湯沼川天然足湯



今も白煙をあげる日和山ひよりやまのふもとにある世界的にも珍しい大規模な湯の沼『大湯沼』から溢れ出した温泉が流れてできた湯の川『大湯沼川』では、天然足湯を楽しむことができます。大湯沼川に沿って、探勝歩道が整備されており、大湯沼からだけではなく、温泉街からも徒歩で行くことができます。

人工物は丸太でつくられたベンチやイスがあるだけという、野趣あふれる足湯では、湯気と木漏れ日が演出した神秘的な光景が目の前に広がり、心やからだを癒やしてくれます。

■のぼりべつを盛り上げる

・登別温泉湯まつり（2月3・4日）

登別温泉の多彩で豊富な湯へ感謝し、開運と無病息災を願って、毎年節分の日に行われます。



2月の厳寒の中、赤や青の『湯鬼神ゆきじん』が登別温泉街のホテルや旅館、商店などに現れ、観光客や市民の厄払いをするとともに、下帯姿の若者たちが湯を掛け合う『源泉湯かけ合戦』などが行われます。

・地獄の谷の鬼花火（6・7月毎週木・金曜日）

登別地獄谷に棲む湯鬼神が、太鼓や鈴を鳴らしながら、厄を集める舞を披露し、迫力たっぷりの手筒花火を夜空に放つ、多くの観光客に大好評のイベントです。

期間中には、登別地獄谷の遊歩道を淡く照らす『鬼火の路、幻想と神秘の谷』をあわせて開催していますので、夜の登別地獄谷もお楽しみいただけます。



・登別地獄まつり（8月最終土・日曜日）

年に一度、地獄の釜のふたが開き、エンマ大王が赤や青の鬼たちを従えて、登別温泉街に現れる登別市最大のイベント。若者が重さ1トンの赤鬼みこしを担いで温泉街を練り歩く『鬼みこし暴れ練りこみ』や迫力満点の『エンマ大王からくり山車』、軽快なはやしに合わせて踊る『鬼踊り大群舞』など、たくさんの鬼がそこかしこに登場するお祭りです。





おもてなしの“まち” ～上川町～

上川町長 佐藤 芳 治



■町の紹介

上川町は、人口3,727人（平成29年10月末現在）、面積1,049.47km²、北海道の大屋根『大雪山国立公園』の北側に位置しております。

大雪山国立公園は、標高2千メートル級の山々が20も連なり、広さはちょうど神奈川県の高さに匹敵する約22万7千ヘクタールに及んでいます。

町内には年間250万人もの観光客が訪れる道内屈指の温泉郷『層雲峡温泉』や『高原温泉』、『愛山溪温泉』があり四季折々の自然と共に観光客を癒しています。

■産業

上川町では、うるち米を生産しておらず上川で生産されているお米は全てもち米となっています。上川町でとれた、もち米で作られた「よもぎ餅」は特産品として高い人気を誇っています。

また、昼夜の温度差が大きい上川特有の気象条件によって大根や馬鈴薯、大豆、そばなどさまざまな作物が品質良く風味良く豊かに育ちます。さらに、ブランド牛『大雪高原牛』は、生後から出荷まで管理できる安心で安全な管理体制を採用し道内外より高い評価を得ています。



ウッドチップ

林業においても、9,132haの森林を有効に活かすため、ウッドチップ生産組合の設立やチップボイラーの導入による資源の活用を行なっています。

■おすすめのイベント&観光スポット



ラン&ヴィラ『フラテッロ・ディ・ミクニ』がオープンし多くの観光客がゆったりとした時間を楽しんでいます。

・表大雪を一望する町内の旭ヶ丘地区、平成25年に500種類をこえる草花を集めた『大雪森のガーデン』とガーデンレスト

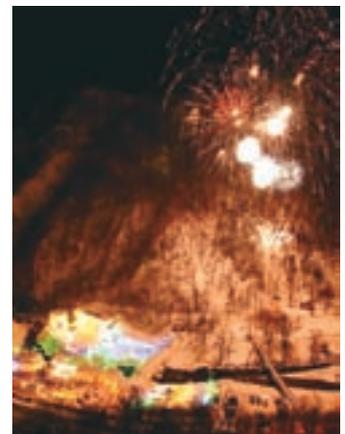


フラテッロ・ディ・ミクニ

○寒さと氷の祭典『層雲峡温泉氷瀑まつり』

厳冬の層雲峡温泉で氷のトンネルなどの造形が色とりどりにライトアップされ神秘的な景観に包まれます。

また期間中には、氷瀑ウェディングが行われ、抽選で選ばれたカップルが厳冬の層雲峡で愛を誓い合います。



○アイヌ伝統儀式に立ち会える『層雲峡温泉峡谷火まつり』

層雲峡の短い夏に行われる、『層雲峡温泉峡谷火まつり』。

本まつりでは、アイヌ伝統のフクロウ神事や舞踊が行われるほか、火まつり太鼓など様々な火にまつわるイベントが開催され、期間中毎夜花火が打上げられ、切り立った断崖が続く峡谷内に響き渡る大迫力の花火を楽しむことができます。



○ふる里まつり

上川町駅前では毎年8月末に行われる、『ふる里まつり』は様々な出店、抽選会や仮装盆踊り、町内対抗競技など夏の風物詩となっています。



○麺まつり



上川町内のそば打ち愛好会が町内産100%のそば粉で打つ『そば』とラーメン日本一の会が作る『ラーメン』が食べられる『上川町麺まつり』。



毎年10月中旬に行われ、毎回多くの方が上川町の味に舌鼓をうっています。

○ラーメン日本一の会

『北に行くほどラーメンはウマイ。』を掲げ日々、ラーメン道を極める『ラーメン日本一の会』。今年結成30周年を迎えた同団体は、「ラーメン憲章」を掲げ独自にラーメンの日を制定するほか、提供するスープの温度などを定め、上川ラーメンの品質向上を進めています。



○上川町マスコットキャラクター『かみっきー』

町のみんなを応援し、訪れたお客様を温かくおもてなしする、上川町のマスコットキャラクター『かみっきー』。



小さなヒグマの男の子で、上川町のシンボル『エスポワールの鐘』の近くに住むヒグマの子です。とても恥ずかしがり屋ですが、町を訪れるお客さまを精一杯おもてなしすることをモットーに頑張っています。

上川町を訪れてかみっきーを見かけたら、気軽に声を掛けてみてください。

○上川町の酒蔵『上川大雪酒造』

平成29年5月に道内では戦後初に誕生した酒蔵で、地元に湧き出す大雪山の良質な天然水と、上川地区の好適酒造米を中心に、全て道産米を使用し、一本一本丁寧に仕込む、小仕込みで高品質の全量純米種の酒造りを行っており、町の新しい特産品として期待されています。



電気設備施設見学会

電気設備施設見学会は、会員企業の技術向上と最新設備の見聞を深めるため、毎年実施しています。今年も平成29年10月24日(火) (一社) 電気設備学会北海道支部と合同開催しました。

今回の見学場所は(株)北弘電社テクノセンターと北海道電力(株)石狩湾新港発電所です。

当日は31名が札幌駅北口に集合し貸切バスで出発し、移動いたしました。最初は(株)北弘電社テクノセンターです。

○(株)北弘電社テクノセンターの概要

- ・所在地：石狩市新港南3丁目704番3
- ① 太陽光発電設備 (概要)
 - ・太陽電池モジュール：単結晶シリコン、最大出力250kW
 - ・モジュール架台：30°40°50° (3種類)
 - ・1架台モジュール容量：2kW (250W×8枚)
- ② 小型風力発電設備 (概要)
 - ・メーカー：Gaia-Wind社 (イギリス)
 - ・ブレード仕様：2枚翼、直径13m
 - ・地上高：19.5m ・定格出力：11kW
 - ・基準年間発電量：27,502kWh
- ③ 水素製造・貯蔵・燃料電池発電設備 (概要)
 - ・水素製造部 (水素発生装置)
 - 定格水素発生量：150NL/h
 - ・水素貯蔵部
 - 水素貯蔵可能量：1,000NL×2本
 - ・燃料電池発電部
 - 燃料電池出力：3,000 (1,500W×2台)



同施設では再生可能エネルギー発電設備普及のための取り組みとして設置されました、次の実証施設を見学いたしました。

次の見学場所は北海道電力(株)石狩湾新港発電所

です。

この発電所は将来的な電力の安定供給のため、既にある火力発電所の経年化に対応するとともに、発電効率が高く、環境特性に優れたLNG (液化天然ガス) を燃料とするコンバインドサイクル発電方式の火力発電所として燃料種の多様化と電源の多様化を図っています。

○石狩湾新港発電所の概要

- ・所在地：小樽市銭函5丁目



- ・燃料の供給方法：北海道ガス(株)が運営する石狩LNG基地から導管を通じて供給
 - ◇1号機～運転開始2019年2月
 - ・出力：56.94万kW 着工：2015年8月
 - ◇2号機～運転開始2026年12月
 - ・出力：56.94万kW 着工：2023年3月
 - ◇3号機～運転開始2030年12月
 - ・出力：56.94万kW 着工：2027年3月

見学途中、それぞれの施設担当者に質問など多数あり参加者の関心の高さを感じる有意義な見学となりました。

各施設の関係者の皆様に感謝を申し上げます。



平成29年度 登録電気工事基幹技能者認定講習会



平成29年10月28日(土)～29日(日)北海道電気会館において、登録電気工事基幹技能者認定講習会が開催され、全道から47名が受講しました。

この講習会は、国土交通省の提唱による「基幹技能者の確保・育成・活用に関する基本方針」をふまえ、(一社)日本電設工業協会が策定した「電気技能労働者育成指針」に基づき、電気工事業界における基幹技能者を認定する講習会です。

合格者の公的評価は、受講条件として第一種電気工事士の資格取得者としているためにZ点評価(経営事項審査の中で技術力を評価する項目)は第一種電気工事士で2点、登録電気工事基幹技能者資格で1点の加点となります。

初めに当協会の宇野専務理事から「現場では施工方法の実情に精通し作業管理や調整能力を持ち、他の職長と連絡・調整を担う役割が大切です。このため技術者に対して適切に指導・統率できる登録電気工事基幹技能者の確保と育成が求められております。講習会を通じて施工管理などの知識を十分に理解し、最終日の修了試験には全員合格して欲しい」と呼びかけました。

認定講習会は、全国一斉に行われ当協会の認定講習試験委員が講師となり、電気工事基幹技能者

の役割や基礎知識など幅広い内容を講義しました。受講者は資格取得に向け真剣に取り組み、メモを取りながら熱心に耳を傾けていました。

【講習内容・講師】

1. 開会挨拶 (一社)北海道電業協会専務理事
宇野 徹
2. 電気工事基幹技能者の概要
電気工事における新材料・新工法等
中村 淳一氏
(北海電気工事(株) 電設工事部GL)
3. OJT教育
宮森 慎一氏
(拓北電業(株) 取締役工事本部長)
4. 施工管理・事務管理・原価管理、関連法規他
内山 優氏
(株北弘電社 技術部担当部長)
5. 資材管理・安全管理・労務管理
宮森 慎一氏
(拓北電業(株) 取締役工事本部長)
6. 品質管理・環境管理
小川 恒明氏
(協信電気工業(株) 取締役工務部長)



中村講師



宮森講師



内山講師



小川講師

安全衛生パトロール実施報告



平成29年10月31日(火)技術安全委員会委員7名と後志電業協会6名による安全衛生パトロールを実施いたしました。

今回の現場は、加藤・北央経常建設共同企業体による道営住宅B-1棟新築工事です。

(小樽市新光1丁目28)

後志電業協会の岩城会長から、現場の説明を聞いた後、2班に分かれて工事現場に向かいました。

当日の主な作業は配管配線・ボード開口などでした。



パトロールは現場事務所、共同住宅の1階から4階までの一般事項、墜落防止、感電防止、衛生環境、防火管理などを点検して終了いたしました。

終了後、小樽電気工事組合の会議室に移動し



て、安全パトロール点検表のチェック項目を整理し個別に各委員から点検結果が発表され、概ね良好であることを確認いたしました。

最後に大東副委員長(日本電設工業株)から「改善を必要とする項目もありましたが、概ね良い状態です。完成まで残り3ヶ月緊張感をもって進めて下さい」と総評がありました。



平成29年度「公共建築の日」イベント

「公共建築の日」フェスティバル2017 in モエレ



このイベントは、北海道開発局が主催し北海道、札幌市、各自治体や当協会など各種団体が後援しております。

趣旨は、地域生活に密接に関わっている公共建築が果たしている役割などを、市民の幅広い層を対象に、参加型イベントを複合的に開催する事で、公共建築に理解と関心を持ってもらう事を目的として毎年開催されています。

当協会からは3名のスタッフが、10月21日(土)に開催された「ものづくり体験コーナー」に参加しました。このコーナーでは、電線を使って昆虫やメガネなどを自由に作ってもらい、持ち帰ってもらう事で、子供たちに建築設備に少しでも興味をもってもらうことを目的に実施しています。

また、参加型イベントとして「ダンボールシティー」では、家庭ではできない大きな建物づくりを行うことで、作成の楽しさから建物にも興味を持ってもらうことを目的として、開発局・後援団体が担当して実施しています。さらに公共建築をより身近に感じてもらうことを目的にフォトコンテスト展（11月1日開発局HP結果発表）も開催されました。

【開催日時】 平成29年10月21日(土)

【場 所】 札幌市東区モエレ沼公園
ガラスのピラミッド内

【参加スタッフ】

(株)北弘電社

・十日市 樹

北海電気工事(株)

・前田 秋次郎・新林 慎之介

(参加スタッフの皆さまお疲れさまでした!)



～シリーズ～ 「私のいちおし」

浅海電気株式会社 札幌支店
支店長 栗原 健治

今回は「インド料理 ランゴリー」さんをご紹介します。



こちらは、三角点通り東苗穂6条3丁目の北海道銀行と和みdining笑琉の間の横道を入ってすぐにあるインド料理店です。

このお店は、当社顧問の川崎さんの娘さんご夫婦が、平成29年6月にオープンしたお店です。私自身、東京に在籍中含め大変お世話になった先輩であり、是非多くの方にもご紹介したく思っていたお店でございます。

皆さんは、最近インド料理のお店が増えたと感じることはないでしょうか。昨今のブームの影響か、全国的に見ると10年間で約4倍に店舗数が増加しているそうです。



セットの一例

インド料理は、フランス料理・イタリア料理・中国料理・日本料理などと並ぶ世界的な料理スタイルの1つであります。特徴の1つは、様々な香辛料（スパイス）を多用する事ですが、インド大陸は広大であり、地域・民族・宗教・階層などによって多くのバリエーションがあります。

お店は、ご夫婦と川崎さんの息子さん、3人でやっており、アットホームな雰囲気です。

シェフはインド東部のコルカタ出身でシェフ歴は15年になります。

人気メニューは「チキンカレー」「チーズナン」です。口当たりはマイルド、お肉もとても柔らかくて美味しかったです。

チーズナンは、たっぷりのチーズでとろとろ、クセの無いチーズでとても美味しい！

ナンに塗られたバターもクセなく、もっちり生地、表面香ばしく風味も良いです。辛さは5段階。標準3番を食べた印象では若干マイルド目かもしれません。



シークカバブ

私がオススメするのは、「シークカバブ」です。

子羊のひき肉を鉄串に巻きつけタンドールで焼いたものです。ビールにもよく合います。鶏肉との味が絶妙にマッチしているので、スパイスの効いたお肉でがっつり食べたい人にはオススメの料理です。

夜はパーティープランもあります。お近くにお越しの際は、是非お立ち寄り下さい。

また、ランゴリーのフェイスブックページに「いいね」またはフォローしていただいた上で来店チェックインすると、ドリンク1杯サービスとのことです。（一部メニューを除く）



左から息子さん、娘さんご夫婦、川崎さん、私

店名：インド料理 ランゴリー
住所：札幌市東区東苗穂6条3丁目5-80
ベアーハウス1階

電話：011-374-8031

営業時間：ランチタイム 11:00～15:00

ディナータイム 17:00～21:00

（ラストオーダー20:30）

定休日：木曜日

厚生委員会行事報告

歌唱部会



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様方には、ますますご清栄のことと心よりお喜び申し上げます。

また、平素より歌唱部会の活動に多大なるご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、歌唱部会は年4回（5月・8月・11月・2月）会合を行っており、毎回20名程のお酒の大好きな、のど自慢・芸達者な方々が参加しております。

午後5時から約2時間、参加費3,000円で、オードブルなどの軽食と美味しいお酒や珍しいお酒を堪能することができます。



演歌や歌謡曲、ポップス、はてはアニソンまでと幅広いジャンルの曲が唄われ、アツと言う間に時間が過ぎてしまいます。お酒を酌み交わし、美味しい料理に舌鼓を打ち、そして、圧巻のステ-



ジパフォーマンス(?)での感動。

世代を超えて楽しめる場、他の会社の人達とのコミュニケーションを深める場としても最適な部会です。

是非、会員以外の皆様も一度参加いただければ、楽しさに病み付きになるはずです。

新しい年を迎え、会員皆様と楽しい会が継続できるよう、今後ともご協力をお願い申し上げます。

歌唱部会幹事 鈴木 雅博（振興電気株）



ボウリング部会



第3回大会参加者の選手

峠では雪化粧が始まり、市内でも雪がちらつく中、平成29年度最後となるボウリング部会が10月27日(金)に開催されました。この時期の月末でご多忙にも関わらず23名のご参加を頂きました。

今回は年度最後と言う事もあり、いつもより多くの方に喜んで貰えるよう賞も追加され、白熱したゲーム展開となりました。最近では若手営業マンの参加も多く、若さと活気に溢れていると感じます。参加された皆さんは和気藹々と2ゲームを楽しみつつ、情報交換等の場としても有効な時間を過ごす事が出来たのではないのでしょうか。

さて、栄えある優秀の美を飾ったのは前回ブービーメーカー・・・

私、橋本電気工事(株)の細野が136-192ハンデ30!!! トータル388点で優勝させて頂きました。いつになく安定したスコアとメンバーにも恵まれ、僕とご一緒した2名と隣でプレーをしていた準優勝の北盛電設(株)森崎さんの4名が上位を独占!

ストライクとスペアのオンパレードでハイスコアが何と196点を叩き出すなど、ハイレベルな争いとなりました。

懇親会ではボウリングの話や仕事の話で盛り上がりました。この頃、すっかり少なくなった業界仲間同士の親睦の場は、大変貴重ではないでしょうか。

若い営業マンはベテランから色々な事を学び、また覚えて頂く事で更なるコミュニケーションへと繋がっていきます。逆にベテランは若手との交

流の中で、日頃聞けない若者の物事の捉え方や考え方を聞き出す良い機会となるのではないのでしょうか。

また来期も1人でも多くご参加頂けますよう、何卒よろしくお願い致します。

ボウリング部会幹事

細野 隆平 (橋本電気工事(株))



(左) 第3回優勝者 細野さん

平成29年度第3回 北海道電業協会ボウリング大会順位表

平成29年10月27日(金)開催

順位	氏名	1G	2G	1Gハンデ	トータル	会社名
優	細野 隆平	136	192	30	388	橋本電気工事(株)
準	森崎 享一	137	196	6	345	北盛電設(株)
1	若宮 昇平	167	168	0	335	拓北電業(株)
2	三好 裕一	137	149	7	300	(株)札幌機電工業所
3	三上 哲哉	112	143	19	293	北電力設備工事(株)
4	十日市 樹	155	129	4	292	(株)北弘電社
5	畑 千寿代	103	123	28	282	北盛電設(株)
6	鈴木 雅博	111	165	2	280	振興電気(株)
7	藤井 大樹	103	130	22	277	(株)でんこう
8	内田 勝久	94	140	21	276	北海電気工事(株)
9	大塚 雅史	113	99	30	272	北盛電設(株)
10	深谷 耕二	115	104	25	269	(株)ユアテック
ハイゲーム賞		森崎 享一		北盛電設(株)		
飛び賞(5位)		畑 千寿代		北盛電設(株)		
飛び賞(15位)		小林 勇治		三共電気工業(株)		
大波賞		鈴木 雅博		振興電気(株)		
小波賞		新名 久弥		(株)ドウデン		
敢闘賞		最上 孝雄		北海電気工事(株)		
ラッキー賞(17位)		鈴木 周平		北電力設備工事(株)		
ブービー賞		大塚公仁子		拓北電業(株)		
ブービーメーカー賞		川端 雅矢		末廣屋電機(株)		
部長賞		内田 勝久		北海電気工事(株)		

ゴルフ部会

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は会員の皆様大変お世話になり、心から厚く御礼を申し上げます

さて、昨年の例会は第1回目（滝のCC・参加者35名）大塚 雅史さん（北盛電設）、第2回目（札幌南GC・参加者28名）栗原 健治さん（浅海電気）、第3回目（エルムCC・参加者25名）住本 邦裕さん（道タツヨ電気）、第4回目（札幌芙蓉CC・参加者33名）滝沢 英美さん（サンテック）の優勝で終了致しました。



第1回大会優勝者
大塚さん

1年間、無事に開催できました事、皆様に感謝申し上げます。

第4回目大会では住本さんが札幌芙蓉CC、南5番ホール、160ヤード、アゲインストの風に対して5番アイアンで打ちホールインワンを達成されました。

おめでとうございます！



第2回大会優勝者
栗原さん



第3回大会優勝者
住本さん

さて、今年の冬期間の練習ですが、今ネットで話題になっていますビジネス・ゾーン（インパクトゾーン）をご存知ですか？右腰から左腰まで移動するスイング幅のことです。

片山プロも「半年間はこの練習しかなかった」という話を聞きました。

スイングの一連の動作の中に、あるひとつの“パーツ”を優先的にマスターすることが上達への最短の近道だそうです。

私も練習をしてみました、効果があるような気がしますのでお勧めします。

今年も、我々幹事としましては一人でも多くの皆様に参加して頂ける部会運営をして参りますので、ご理解のほどご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

ゴルフ部会幹事 桜庭 謙次(北電力設備工事株)



第4回大会優勝者
滝沢さん

理事会・委員会報告

|| 理 事 会

◇平成29年10月26日(木) 12:00~13:30

第4回議題

【協議事項】

1. 平成30年度 電業協会及び電設協道支部役員会等の日程(案)について
2. 平成29年度 経営者懇談会・セミナーの運営(案)について
3. 平成29年度「建設産業ふれあい展」への参加について
4. 当協会創立50周年記念事業について
以上提案どおり承認された。

【報告事項】

1. 定款第21条第5項の規定に基づく報告(職務の執行状況)について
2. 平成29年度 北海道の建築工事に係る合同研修会(開催結果)
3. 平成29年度 会員大会について(開催結果)
4. 札幌市協定災害時行動フローに係る関係団体間の検討状況について
5. 平成29年度 合同安全パトロールの実施について
6. 実技講習会(第一種電気工事士〔技能〕試験対策講習会)の開催について
7. 平成30年 電気賀詞交歓会について
8. 電設協道支部賛助会員の退会について
9. 平成29年11月~12月の行事予定について
10. その他意見交換会
以上概要を報告(宇野専務理事)。

◇平成29年12月5日(火) 16:30~17:30

第5回議題

【協議事項】

1. 平成29年度 役員会等主要行事の変更について

2. 定時総会までの協会主要業務スケジュールについて
3. (一社)北海道電業協会 中間経理報告(平成29年度上期決算)
4. 役員改選に係る候補者選任について
5. 平成29年度「建設産業ふれあい展」の対応について
6. 平成29年度 電設業関連4団体懇談会の開催について
以上提案どおり承認された。

【報告事項】

1. 平成28年度 経営者懇談会・セミナーの開催結果について
2. 平成30年電気賀詞交歓会の来賓ご案内について
3. 平成29年12月~平成30年1月の行事予定について
4. その他意見交換会
以上概要を報告(宇野専務理事)

|| 三 役 会

◇平成29年10月3日(火) 12:00~13:30

第7回議題

【報告事項】

1. 平成29年度 合同安全パトロールの実施について
2. 電設協会員大会当日の諸行事等について

【協議事項】

1. 平成30年電業協会及び電設協道支部役員会等の日程(案)について
2. 札幌市協定災害時行動フローに係る関係団体間の検討状況について
3. 定款第21条第5項の規定に基づく報告(職務の執行状況)について
4. 当協会創立50周年記念事業について(中間報告)

5. 現場管理社員の労働条件等に関する会員調査について（再度）

【その他事項】

1. 平成29年10月～11月の行事予定について
2. その他意見交換会

◇平成29年11月7日(火) 12:00～13:00

第8回議題

1. 北海道電業協会 平成29年度上期決算報告について
2. 平成29年度 経営者懇談会・セミナーについて
3. 平成29年11月～12月の行事予定について
4. その他意見交換会

◇平成29年12月5日(火) 15:30～16:30

第9回議題

【協議事項】

1. 平成29年度 役員会等主要行事の変更について
2. 定時総会までの協会主要業務スケジュールについて
3. 官公庁との新年の対応について
4. 「建設産業ふれあい展」への対応について
5. 平成29年度 電設業関連4団体懇談会の開催について

【報告事項】

1. 平成29年度 経営者懇談会・セミナーの開催結果について
2. 平成29年12月～平成30年1月の行事予定について
3. その他意見交換

総務委員会

◇平成29年8月21日(月) 12:00～13:30

第3回議題

1. 電気・空衛連絡協議会活動に係る関係官庁との調整状況
2. 技術系学校の学生の工事見学会の実施結果について
3. 技術系学校の先生との意見交換会の開催結果

について

4. 平成29年度 北海道開発局幹部と建専連との意見交換会（結果）
5. 道電気資材卸業協同組合からの「働き方改革」に係るお願いについて
6. 平成29年度 経営者懇談会・セミナーの開催要領（案）について
7. 当協会創立50周年記念祝賀会について
8. その他意見交換

◇平成29年10月17日(火) 12:00～13:30

第4回議題

1. 平成29年度 北海道の建築工事に係る合同研修会（開催結果）
2. 平成29年度 総務委員会事業実施状況について（中間報告）
3. 平成29年度 経営者懇談会・セミナーの運営（案）について
4. 当協会創立50周年記念祝賀会について（中間取り纏め）
5. 札幌市協定災害時行動フローに係る関係団体間の検討状況について
6. その他意見交換

◇平成29年12月19日(火) 15:00～17:30

第5回議題

1. 定時総会までの協会主要業務スケジュールについて
2. 平成29年度 経営者懇談会・セミナー開催概要について
3. (一社)北海道電業協会 中間経理報告（平成29年度上期決算）について
4. 平成29年度「建設産業ふれあい展」への参加について
5. 当協会創立50周年記念祝賀会について（最終取り纏め）

経営委員会

◇平成29年12月19日(火) 16:00~17:30

第4回議題

1. 第3回議事録の承認について
2. 本部275・276回政策委員会の概要報告について
3. 平成29年度経営者懇談会・セミナー開催概要について
4. 平成30年電気賀詞交歓会について
5. 「建設産業ふれあい展」への協力依頼について
6. その他意見交換

広報委員会

◇平成29年12月11日(月) 15:00~17:00

第3回議題

1. 会報「春号」の編集方針(案)について
2. 会報「冬号」の校正について
3. 記念誌編纂について
4. 「建設産業ふれあい展」への協力について
5. その他意見交換

技術安全委員会

◇平成29年10月19日(木) (書面開催)

第2回議題

1. 建設産業ふれあい展への参加協力について
2. 平成29年度 安全パトロールについて
3. 平成29年度 登録電気工事基幹技能者認定講習会の講義について
4. 実技講習会について
5. 技術系学校先生との意見交換会について
6. 技術系学校生徒との見学会について
7. 平成29年度 札幌市電気設備施工研修会について

◇平成29年12月14日(木) 16:00~17:00

第3回議題

1. 実施報告

- ①平成29年度 登録電気工事基幹技能者認定講習会開催結果について
- ②平成29年度 経営者懇談会開催概要について
- ③平成29年度 安全大会の開催概要について
- ④1級実地電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会について
- ⑤電気設備施設見学会の実施報告について
- ⑥平成29年度 安全パトロールについて
- ⑦第一種電気工事士(技能)試験対策講習会について
- ⑧技術系学校の先生との懇談会および生徒との見学会

2. 平成29年度 技術講習会について

3. 平成30年度 技術安全衛生基礎教育講習会(新人研修)の開催について
4. その他意見交換

事務局日誌

- 10月3日(火)・第7回三役会議
- 5日(木)・全国建設業労働災害防止大会
(北海きたえーる) 宇野専務理事
- 12日(木)・電設協本部会員大会
(金沢) 吉本会長他
- 17日(火)・第4回総務委員会
・第8回記念誌編纂委員会
- 19日(木)・建設産業ふれあい展会議
(道庁別館)
宇野専務理事・類家事務局長
- 21日(土)・公共建築の日フェスティバル2017モ
エレ
(モエレ沼公園ガラスのピラミッド)
宇野専務理事
- 23日(月)・北海道開発局営繕部との意見交換会
(電気・空衛連絡協議会)
(北海道電気会館) 吉本会長他
- 24日(火)・施設見学会 類家事務局長
- 26日(木)・第4回理事会・常議員会
- 27日(金)・第3回ボウリング部会(ノルベサ)
・基幹技能者認定講習会打合せ
- 28日(土)・基幹技能者認定講習会
- 29日(日)・
(北海道電気会館) 類家事務局長
- 30日(月)・北海道建設業審議会
(かでの2・7) 吉本会長
- 31日(火)・合同安全パトロール
(小樽) 類家事務局長他
- 11月7日(火)・第8回三役会議
・経営者懇談会・セミナー
(札幌グランドホテル) 吉本会長他
- 14日(火)・第275回本部政策委員会
(東京) 笠島経営副委員長
- 18日(土)・第一種電気工事士技能講習会
- 19日(日)・
(北海電気工事株) 類家事務局長
- 21日(火)・第9回記念誌編纂委員会
- 22日(水)・本部理事会(東京) 大房支部長
- ・第3回歌唱部会(ネオン)
- 12月1日(金)・本部基幹技能者認定委員会
(東京) 類家事務局長
- 5日(火)・第9回三役会議
・第5回理事会・常議員会
(札幌グランドホテル) 吉本会長他
・本部第276回政策委員会
(東京) 笠島経営副委員長
- 8日(金)・本部第346回運営委員会
(東京) 吉本会長
- 11日(月)・第3回広報委員会
- 13日(水)・北海道赤レンガ建築賞委員会
(道庁本館) 宇野専務理事
- 14日(木)・第3回技術安全委員会
- 19日(火)・第5回総務委員会
・第4回経営委員会
- 28日(木)・仕事納め

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

本号は、日頃色々ご指導いただいております、北海道開発局営繕部長 澤永好章様に巻頭言をお願いしました。公務多忙な中、御執筆いただきありがとうございます。

さて、部長のご挨拶にもありましたが、今年は北海道と命名されて150年目に当たります。また、昨年末に一般社団法人 北海道電業協会が50周年を迎えたところでもあります。この時期に、協会として50周年記念式典並びに記念誌発行が予定されております。先人たちのご苦勞を偲び、現在を評価し、未来を語る、そんな式典・記念誌になってくれればと思っております。

今回、平成16年から19年まで副会長をお務めいただいた、小出 信夫氏より「北海道を離れて思うこと」という表題で、御寄稿いただきました。お元気そうなお写真を拝見し、楽しく読み、編集作業をさせてもらいました。

本当にありがとうございました。

改めて、皆様の今年一年のご健勝とご多幸を、そして会社・団体のご発展を祈念しております。

広報委員長
萩本 哲夫



発行 平成30年1月
一般社団法人 北海道電業協会
札幌市中央区北1条東3丁目1-1
北電興業ビル4階
TEL(011) 271-2932
FAX(011) 271-2952
E-Mail:dodenkyo@estate.ocn.ne.jp
<http://www.dodengyo.jp/>